



# 輝け 城東っ子



R7. 1. 8

校長 高橋 正和



## 2025年もどうぞよろしくお願いいたします

令和7年がスタートし、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。本年も児童や保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員が健康で幸福な1年を過ごせることを願います。さて、「ウェルビーイング」という言葉をご存知ですか？健康・幸福を意味する言葉で、身体的・精神的・社会的にすべて満たされた状態のことです。アメリカの心理学者「マーティン・セリグマン」によると、健康・幸福を高める5つの要素が大事だそうです。一つ目は、ポジティブな感情で、楽しみ、喜び、思いやり、希望、興味、誇り、感謝などに満ちた明るい気持ちで日々を過ごすことだそうです。二つ目は、自分が好きなことに熱中したり、自然のなかに没入したりすることだそうです。三つ目は、周りの人に気遣ってもらったり、支えてもらったり、評価や感謝をされるなど、よい人間関係に恵まれることだそうです。四つ目は、何か意味を感じる活動へ参加し、意義ある何ものかに貢献することだそうです。五つ目は、努力して目標達成するまでやり遂げることだそうです。この五つの要素を充実させ、健康で幸福な1年にしていきたいと思います。

## 人権週間 「『誰か』のことじゃない」(2024テーマ)



昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を強化しています。

私達一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。(法務省抜粋)

本校でも、12月2日(月)～7日(土)を校内人権週間と設定し、各教科や道徳、学級活動、総合的な学習の時間等で、人権について考える授業を行いました。また、放送委員会児童による人権に関する冊子の読み聞かせや人権に関する図書の紹介などを通して、人権について考える機会を設定しました。人権尊重の社会を築いていこうとする実践力を育てていきたいと思います。

## 全市一斉土曜授業



12月7日(土)に年に1度の全市小学校一斉の土曜授業が行われました。たくさんの保護者の方に参観していただき、ありがとうございました。また、地域の方々にご来校いただき参観していただいたことに感謝申し上げます。子供たちは、普段の頑張っている成果を見ていただこうと、さらに頑張っていました。ご家庭では見せない頑張りや表情もご覧いただくことができたのではないのでしょうか。たくさん褒めていただきながら、失敗を恐れず、次も頑張るという気持ちが自然と湧いてくるよう、日頃の温かな言葉掛けにご協力をお願いいたします。また、学校マネジメント全体アンケートにもご協力いただきまして、ありがとうございました。今後の教育活動に生かしてまいります。今後ともどうぞ温かく見守っていただけたら幸いです。

## 乗り入れ授業

6年生の中学校進学への準備が始まっています。12月9日（月）には、旭中学校の先生が来校してくださり、社会科の授業を行ってくださいました。公民の経済分野の中学校を意識できる授業でした。「中学校では、こういう授業をするんですね。」という呟きなど、子供たちからも楽しみにしている様子が伝わってきました。中学校進学に不安を抱えている子供たちも少なくないと思います。1月17日（金）の進学先中学校訪問も実施されます。少しでも不安を取り除き、進学できるよう保護者の皆様や中学校とも連携していきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。



## 宮っこチャレンジウィーク

12月2日（月）～6日（金）までの5日間、旭中学校の2年生3人が、本校で職業体験を行いました。教員という職業を体験し、先生になりたいと思った生徒もいたようです。1年生と3年生を中心に関わったり、図書館司書や業務主任の仕事も体験したりしましたが、そんな中学生の姿を6年生は、憧れや中学校への希望をいだきながら見ていたようです。中学生になるという不安が少しだけ前向きな気持ちに変化したのではないのでしょうか。2年後、本校に職業体験に来てくれることを楽しみにしています。

## お弁当の日



11月のおにぎりの日に引き続き、12月18日（水）がお弁当の日でした。目標は、「低学年が献立を考え食材の買い物をする。中学年は、必要な食材を選ぶ。高学年は、栄養のバランスのよい献立を考え、自分で作る。」でした。それぞれの目標は達成できたでしょうか。今後の人生を豊かにするためにも、2回のお弁当の日を生かして、ご家庭でも食育につなげていただけたら幸いです。



## 子ども110番の家

「子ども110番の家」を見たことはありますか。登下校時などに危険を感じた児童らが助けを求めて駆け込むことができるのが「子ども110番の家」です。毎年少しずつこの「子ども110番の家」の栃木県内の設置数が減少しているそうです。城東地区でも共働き世帯の増加や高齢化などが要因となり、年々減少しているのが実態です。児童の安心安全のためにも、「子ども110番の家」設置へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける保護者の方、地域の方は、学校までご連絡ください。（028-635-9534）また、買い物をしながら、通勤をしながら、散歩をしながらなどの「ながら見守り」にも、地域の防犯や児童の安心安全へつなげるためにも、引き続きご協力をお願いいたします。



<ことばの窓> 児童精神科医 佐々木 正美

その人の価値観は、子どもの時にどう教育されたかを基盤にしてできる。地盤や基礎工事に手抜きのある建物のような子どもにしないように、育ててやりたい。